

親子で感じる
いのちのめぐみ



あいのう

こども自然学校

～鶏の解体を通して
いただきますを学ぶ～

12/14 2025
日
9:30～16:00

会場：愛農学園農業高校
募集対象：
小学5・6年生と保護者

詳細は裏面へ▶



申込フォーム

10/15 水 申込開始

- ※上記申込開始日にならないと回答できません。
- ※期日前にアクセスしても「受付は終了しました」と表示されます。
- ※先着順で受け付けます。
- ※11/24(月)が申込締め切り日ですが、定員に達し次第締め切る場合があります。

【主催】公益社団法人全国愛農会

参加者の声

はじめは見ていら
れなかったけれど、命を
いただくことを考えると
ちゃんと見なければいけな
いと思って見ました。

命の大切さがすごく伝わ
りました。

(4年生男子)

怖かったけど、
いつもふつうの気持ち
で食べていたとり肉が、
こんなにも大変な思いをして
私たちのところに来てくれて
いると思うと、本当に「あり
がとう」「いただきます」と
いう気持ちで食べようと思
いました。

(5年生女子)



日曜日

あいのう

こども自然学校

2025

12/14 日

9:30 ~ 16:00

【会 場】愛農学園農業高等学校

(三重県伊賀市別府 690 番地)

【対 象】小学 5、6 年生と保護者

【募集人数】子供 10 名、保護者 10 名

※子 1 人と保護者 1 人のペアでお申込み下さい

【参加費】子供大人合わせて (税込)

※賛助員・購読者は一般です 一般 16,500 円

会員 14,300 円



プログラム

9:30 集合受付

10:00 開校式・アイスペイク

10:50 お話

「あいのうってどんなところ？」

「鶏のお話」

11:30 お祈り、鶏の解体

12:40 昼食

「どんな気持ちだった？」
親子で話してみよう

解体した鶏肉を
食べてみよう

愛農高校キャンパスツアー

15:00 閉校式

16:00 解散

※プログラムは予告なく変更する場合があります

※雨天決行予定 (荒天・警報発令などは中止の可能性あり) です



講 師



江端 貴さん (鶏のお話・解体)

株式会社愛農流通センター社長、愛農高校卒業生。
80年にわたる愛農の歴史を基盤にし、見えるよ
うに、わかるように、知らせるようになをモットー
に、都市と農村を結び、顔の見える農家がつくつ
た農産物を届けることに力を注いでいる。



岡田桂織さん (昼食調理)

三重県生まれ。出張料理教室『桂樹庵』を展開。
作る料理は伝統製法で作られた調味料を使った
お料理。
私は何でも食べる野菜系雑食人。『こだわるけれ
ど、囚われない!』が信条。

泉川道子さん (子供へお話)

愛農高校教頭。在任 25 年。
2017 年より現職。聖書の
教員として、寮監として、
ひたすら高校生と向き合う日々。
座右の銘は『ピンチはチャンス』



近藤 百さん (大人へお話)

愛農高校教諭。果樹部
担当。兵庫県にある 11
世帯の山村で加治屋の
長男として育つ。人生のテーマは
『小さくて頑丈な暮らしを作る』



ご参加にあたり

本イベントでは生きた鶏の命をいただくという
行為を通して命の大切さに向き合います。鶏の
解体は「生きた鶏を絞める」ところから始まり、
お子様に強い印象を残す可能性があります。
心の準備が必要な内容となりますので、ご家庭
で十分に話し合い、お子様の気持ちを確認した
うえで参加の可否をご判断ください。